

【公民】

次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

2021年10月に衆議院議員選挙が行われた。衆議院議員選挙は①小選挙区制と②比例代表制からなり、このような選挙制度を「小選挙区比例代表（A）制」と呼ぶ。衆議院の現在の定数は（B）名となっており、③一票の格差の軽減などの理由から少しずつ見直しが進んでいる。衆議院議員選挙に立候補できる被選挙権は（C）歳で変わっていないが、（D）年の参議院議員選挙より選挙権年齢を18歳に引き下げ、若者の政治参加を促している。

18歳という年齢は、④法改正により（E）年4月より成年年齢（成人年齢）と定められることになった。これはこの法が国内で最初に定められた（F）時代に20歳と定められて以来の改正となる。一方で、従来20歳以上から可能となる事柄に関する諸法規の対応は分かれており、⑤法律上18歳から許されるものもあれば、従来通り20歳まで許されないものもある。このように18歳で意思決定や判断が求められるようになることから、主権者教育の重要性がさらに高まっている。

問1 空欄Aに当てはまる語句として正しいものを、ア～エから1つ選び記号で答えなさい。

ア：並立 イ：連立 ウ：両立 エ：擁立

問2 空欄Bに当てはまる語句として正しいものを、ア～エから1つ選び記号で答えなさい。

ア：245名 イ：248名 ウ：465名 エ：475名

問3 空欄Cに当てはまる語句として正しいものを、ア～エから1つ選び記号で答えなさい。

ア：20歳 イ：25歳 ウ：30歳 エ：35歳

問4 空欄Dに当てはまる語句として正しいものを、ア～エから1つ選び記号で答えなさい。

ア：2006年 イ：2011年 ウ：2016年 エ：2021年

問5 空欄Eに当てはまる語句として正しいものを、ア～エから1つ選び記号で答えなさい。

ア：2021年 イ：2022年 ウ：2023年 エ：2024年

問6 空欄Fに当てはまる語句として正しいものを、ア～エから1つ選び記号で答えなさい。

ア：江戸 イ：明治 ウ：大正 エ：昭和

問7 下線部①、参議院議員選挙では県をまたぐ選挙区が現在2つ設定されているが、それはどこか。
以下のア～クから2つ選び記号で答えなさい。【順不同】

ア：青森県と秋田県 イ：秋田県と山形県 ウ：鳥取県と島根県 エ：島根県と山口県
オ：高知県と徳島県 カ：徳島県と香川県 キ：大分県と宮崎県 ク：宮崎県と鹿児島県

問8 下線部②、比例代表制の決定方法である「ドント式」について、ある選挙区において以下の4つの政党の名簿登載者8名（A～H）から4名が当選するとする。以下のような得票数の場合に当選となる4名をA～Hの記号で答えなさい。【順不同、完答】

政党名	名簿の順位		得票数
	1位	2位	
アルファ党	A	B	15,000
ベータ党	C	D	12,000
ガンマ党	E	F	8,000
デルタ党	G	H	5,000

問9 下線部③、一票の格差が大きいことは選挙の4つの原則のうち、特にどの原則に反することになるか。最も適当なものをア～エから1つ選び記号で答えなさい。

ア：普通選挙 イ：平等選挙 ウ：直接選挙 エ：秘密選挙

問10 下線部④について以下の設問に答えなさい。

[1] 成年年齢を規定している法として正しいものを、ア～エから1つ選び記号で答えなさい。

ア：日本国憲法 イ：商法 ウ：刑法 エ：民法

[2] 法改正後の婚姻年齢として正しいものを、ア～エから1つ選び記号で答えなさい。

ア：男子18歳以上、女子16歳以上 イ：男子・女子ともに18歳以上
ウ：男子20歳以上、女子18歳以上 エ：男子・女子ともに20歳以上

問11 下線部⑤、法改正によって18歳から法律上許されることになった事柄として正しいものを、ア～エから1つ選び記号で答えなさい。

ア：単独の契約 イ：飲酒 ウ：喫煙 エ：競馬・競輪などの公営ギャンブル

[公民出題 以上]